

8月15日

テーマ：「義に飢え渴いている者は幸いです」

聖書箇所：マタイの福音書5章6節

◆今日のみことば

義に飢え渴く者は幸いです。その人たちは満ち足りるからです。マタイの福音書5章6節

◆メッセージ

夏の暑いときに、たくさん歩いたり、走ったり、運動したりすると、のどがとても渴きます。そういうときに飲む冷たい水は、最高です。水がお腹の中を上から下に、ずーっと通って行くのがよくわかります。私たちのからだの中から「水をくれ」「水をくれ」という声が出ているからです。同じ水なのに、普段何でもないときに飲むときよりも、何倍もおいしいのです。ごはんでも一緒です。ハイキングに行ったり、山登りをしたりしたときのことを思い出してください。お腹がすいているのを我慢して、一生懸命に登った後に食べるお弁当は、家で食べるごはんより、何倍もおいしいでしょう。このときも私たちのからだから「食べ物がほしい」「ごはんをください」という声が出ているのです。



さて、私たちの心からはどんな声が出ているのでしょうか。「神さまとなかよくしたい」「神さまのことをもっと知りたい」という声が出ているなら、それは素晴らしいことです。

私たちは、困っている人を助けたい、正しいことをしたいとおもっていても、なかなかできません。ときどき、まったく反対のことをしてしまうこともあります。友だちに意地悪をしまったり、うそをついてしまったりすることもあるでしょう。ですから、神さまに、何が正しいことなのか教えていただかなくてはなりません。また、良いことをするための力もいただかなくてはなりません。心の中に、「私は正しいことをすることができません。神さま、どうぞ助けてください。」という声のある人のことを「義に飢え渴くもの」と言います。「私にはできない」とあきらめてしまわないで、「神さま、私を義に飢え渴くものにしてください」とお祈りしましょう。のどが渴いた時のように。そうして、神さまの祝福に満ち足りる者としていただきましょう。



◆お祈り

「神さまの喜ばれることをすることができるよう、助けてください。」

(国立キリスト教会牧師 嵐時雄)